

## 12. 妥協しない

日本の映画監督は世界の映画監督に影響を与えている。例えば、「ラストエンペラー」の監督ベルナルド・ベルトリッチは溝口健二から、「キル・ビル」の監督クエンティン・タランティーノは深作欣二から影響を受けたと言っている。ベルトリッチ、タランティーノの両監督が影響を受けた溝口にしても深作にしてももちろん素晴らしい監督であることは確かだが、**それ以上 \***に世界的に有名な日本の監督と言えば黒澤明だと言ってもさしつかえないだろう。

黒澤は 20 代のはじめ画家をめざしたが、助監督募集の広告を見て映画会社に入社する。黒澤は 30 本の作品を撮っているが、海外で初めて評価を得た作品は「羅生門」だ。黒澤はこの作品で、ベネチア国際映画祭金獅子賞を受賞して、彼の名前は一気に世界に広がった。

黒澤は完璧主義だったようで、彼が撮る映画は映画会社の意向もかまわず多額の費用と日数がかかった。傑作と言われている「七人の侍」では、黒澤はハリウッドの西部劇に劣らない時代劇を作るために徹底的にリアリズムを追求し、妥協を許さなかったという。例えば、映画のロケーションの場所を探す際には、3 か月の時間をかけた。そして、映画の中に出てくる 100 人近いエキストラの農民を本当の村人に見せるため、映画のストーリーと無関係であるのに、全てのエキストラを家族に分け、それぞれの名前と年齢、セットの中での家まで決めただけで、常に家族で行動するように求めた。また完璧主義者だけに、侍のテーマ音楽を作る際には黒澤の意見に沿って彼が気に入るまでなんと 20 回も作り替えられたそう。黒澤やスタッフ、出演者の努力もあって、「七人の侍」は公開されると大ヒットとなった。

スティーブン・スピルバーグは、映画の撮影や製作に行き詰まった時に観る映画の一つとして「七人の侍」をあげているのはよく知られている話だ。また、ジョージ・ルーカスの「スター・ウォーズ」は黒澤の映画の影響を強く受けており、「ジェダイ」は時代劇の「時代」から、ジェダイのライトセイバーは日本の刀の持ち方をまねて両手で持つようになっている。そして、ダースベーダーは、もともと「七人の侍」にも出演し

た三船敏郎にオファーされたそうだが、そんな子供っぽい映画には出られないと三船が断ったため実現には至らなかったそうだ。このように黒澤の映画に対する姿勢\*\*、そして作品は世界の多くの監督らに影響を与えたが、今後も多くの監督に影響を与えていくに違いない。

単語リスト：

|                                 |                               |
|---------------------------------|-------------------------------|
| 監督（かんとく）Đạo diễn                | 徹底（てってい）Kỹ lưỡng, tỉ mỉ       |
| 影響（えいきょう）Ảnh hưởng              | 追求（ついきゅう）Theo đuổi            |
| 完璧主義（かんぺきしゅぎ）Chủ nghĩa hoàn hảo | 妥協（だきょう）Thỏa hiệp, thỏa thuận |
| 侍（さむらい）Võ sĩ Samurai            | 撮影（さつえい）Quay phim             |
| 傑作（けっさく）Kiệt tác                | 姿勢（しせい）Tư thế                 |